

平成27年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部部長

(氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成26年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第1四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第1四半期	4,499	14.8	△382	—	△373	—	△257	—
26年7月期第1四半期	3,920	△7.0	△455	—	△455	—	△287	—

(注) 包括利益 27年7月期第1四半期 △231百万円 (—%) 26年7月期第1四半期 △234百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第1四半期	△85.63	—
26年7月期第1四半期	△97.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年7月期第1四半期	13,365	1,823	13.6
26年7月期	7,662	2,079	27.1

(参考) 自己資本 27年7月期第1四半期 1,818百万円 26年7月期 2,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	7.00	—	8.00	15.00
27年7月期	—	—	—	—	—
27年7月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,000	3.1	270	6.0	300	7.4	180	△1.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年7月期1Q	3,060,110 株	26年7月期	3,060,110 株
② 期末自己株式数	27年7月期1Q	55,849 株	26年7月期	54,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年7月期1Q	3,005,126 株	26年7月期1Q	2,955,589 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、GDP のマイナス成長が示すように、生産・設備投資の減少がみられ、個人消費についても足踏みが続いており、消費税率引き上げに伴う影響が随所にみられております。今後も消費税率引き上げの影響の長期化や海外景気の下揺れが懸念されており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが位置する印刷・広告業界におきましては、出版市場の縮小傾向の継続や競争激化に伴う単価下落の影響もあり、厳しい経営環境となっております。

このような環境の中、当社グループは、収益性の向上を重要な経営課題とし、既存顧客のシェア拡大および新規顧客の獲得を目指し、グループ一体となり独自の販売促進支援サービスの強化を行ってまいりました。

また、生産能力向上のため神奈川県伊勢原市に所在する既存工場の近隣に、商業印刷・サインディスプレイ・年賀状印刷の生産が可能な複合型工場を新設いたしました。商業印刷・サインディスプレイについては、11月以降の稼働予定となっておりますが、年賀状印刷については9月より稼働を開始し、前年を上回る操業となっております。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、4,499百万円（前年同四半期比579百万円増）となりました。また、営業損失は、382百万円（前年同四半期の営業損失は455百万円）、経常損失は373百万円（前年同四半期の経常損失は455百万円）となり、四半期純損失は、257百万円（前年同四半期の四半期純損失は287百万円）となりました。

なお、当社グループの利益は、第 1 四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第 2 四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第 3 四半期・第 4 四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規顧客のレギュラーチラシの獲得や既存顧客の受注増加により、当事業の売上高は 2,728百万円（前年同四半期比188百万円増）となりました。また、外注費削減等のコスト管理の強化や組織体制の見直しを行ったことにより、営業利益は62百万円（前年同四半期の営業損失は34百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、大口顧客向けの年賀状の納品が一部前倒しとなったため、当事業の売上高は1,761百万円（前年同四半期比390百万円増）となりました。その一方で、組織体制の変更による人員の増加及び販売促進費等の先行投資の増加により、営業損失は348百万円（前年同四半期の営業損失は346百万円）となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の 2 店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は9百万円（前年同四半期比0百万円増）、営業損失は4百万円（前年同四半期の営業損失は3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,702百万円増加しました。これは主に年賀状印刷事業の売上に係る受取手形及び売掛金が1,910百万円増加したこと、同事業に伴う年賀はがき等の原材料及び貯蔵品が1,641百万円増加したこと、また、伊勢原新工場取得に伴い建物及び構築物が368百万円、土地が149百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は11,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,958百万円増加しました。これは主に年賀状印刷事業に係る材料仕入のための短期借入金が3,534百万円増加したこと、同資材購入等による支払手形及び買掛金が1,121百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は1,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少しました。これは主に利益剰余金が281百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月期の業績予想につきましては、平成26年9月10日付「平成26年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,394	1,553,792
受取手形及び売掛金	1,718,061	3,628,474
商品及び製品	10,135	11,288
仕掛品	20,373	6,441
原材料及び貯蔵品	548,662	2,190,110
その他	162,924	1,220,998
貸倒引当金	△13,189	△14,371
流動資産合計	3,650,361	8,596,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	627,246	995,534
土地	1,013,601	1,163,579
その他（純額）	1,089,782	1,185,807
有形固定資産合計	2,730,630	3,344,921
無形固定資産		
その他	149,995	221,847
無形固定資産合計	149,995	221,847
投資その他の資産		
投資有価証券	686,527	725,894
関係会社株式	18,683	10,000
その他	466,569	504,092
貸倒引当金	△40,330	△38,382
投資その他の資産合計	1,131,448	1,201,604
固定資産合計	4,012,075	4,768,373
資産合計	7,662,437	13,365,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 7 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,958	2,403,992
短期借入金	1,022,300	4,557,074
未払法人税等	46,408	1,694
賞与引当金	14,269	43,184
返品調整引当金	-	37,740
その他	501,971	1,110,104
流動負債合計	2,867,907	8,153,790
固定負債		
長期借入金	2,227,226	2,896,546
資産除去債務	2,691	2,703
その他	484,738	488,105
固定負債合計	2,714,655	3,387,354
負債合計	5,582,563	11,541,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	453,546	453,546
利益剰余金	986,057	704,691
自己株式	△17,560	△18,104
株主資本合計	1,833,964	1,552,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,139	266,367
その他の包括利益累計額合計	240,139	266,367
少数株主持分	5,769	5,541
純資産合計	2,079,873	1,823,962
負債純資産合計	7,662,437	13,365,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 8 月 1 日 至 平成25年10月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 8 月 1 日 至 平成26年10月31日)
売上高	3,920,663	4,499,765
売上原価	3,330,420	3,758,568
売上総利益	590,243	741,196
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	366,069	378,780
貸倒引当金繰入額	3,715	498
賞与引当金繰入額	27,128	22,881
その他	648,665	721,473
販売費及び一般管理費合計	1,045,579	1,123,634
営業損失 (△)	△455,335	△382,437
営業外収益		
受取利息	258	236
受取配当金	130	250
受取賃貸料	4,129	4,361
作業くず売却益	4,990	4,424
貸倒引当金戻入額	-	1,264
持分法による投資利益	1,093	-
受取手数料	9,086	8,347
その他	2,590	3,255
営業外収益合計	22,278	22,139
営業外費用		
支払利息	12,561	13,206
持分法による投資損失	-	407
貸倒引当金繰入額	9,476	-
営業外費用合計	22,038	13,613
経常損失 (△)	△455,095	△373,911
特別損失		
固定資産除却損	44	1,426
投資有価証券評価損	4,999	-
関係会社株式売却損	-	1,275
特別損失合計	5,044	2,702
税金等調整前四半期純損失 (△)	△460,139	△376,613
法人税、住民税及び事業税	1,083	1,120
法人税等調整額	△173,879	△120,180
法人税等合計	△172,796	△119,060
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△287,343	△257,552
少数株主損失 (△)	△36	△228
四半期純損失 (△)	△287,306	△257,324

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 8 月 1 日 至 平成25年10月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 8 月 1 日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△287,343	△257,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,569	26,227
その他の包括利益合計	52,569	26,227
四半期包括利益	△234,773	△231,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△234,736	△231,096
少数株主に係る四半期包括利益	△36	△228

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成25年 8 月 1 日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注 3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,539,523	1,371,352	3,910,875	9,787	3,920,663	—	3,920,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,544	368	5,913	1,095	7,008	△7,008	—
計	2,545,068	1,371,720	3,916,788	10,883	3,927,672	△7,008	3,920,663
セグメント利益又は 損失(△)	△34,756	△346,758	△381,515	△3,506	△385,021	△70,314	△455,335

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,314千円には、セグメント間取引消去3,422千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△73,737千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成26年 8 月 1 日 至 平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注 1)	合計	調整額 (注 2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注 3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,728,189	1,761,733	4,489,923	9,841	4,499,765	—	4,499,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,486	56	1,542	1,085	2,628	△2,628	—
計	2,729,676	1,761,790	4,491,466	10,927	4,502,394	△2,628	4,499,765
セグメント利益又は 損失(△)	62,836	△348,278	△285,442	△4,082	△289,524	△92,912	△382,437

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,912千円には、セグメント間取引消去1,088千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,001千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。